

令和4年2月16日（水）全校集会

おはようございます。

観音寺市内には5つの中学校があり、三豊市も加えた三観地区には12の中学校があります。さらに、香川県内には附属や県立、私立も合わせると70の中学校があります。

そして、それぞれの中学校には「校訓」と呼ばれる、生徒が目指すべき目標であり、在学中に身に付けてほしいことが掲げられています。皆さんは本校の校訓を知っていますか。「誠実（せいじつ）、じりつ、きょうどう」ですね。

本校は1959（昭和34）年に創立されて以来62年間、この校訓は変わっていません。

さて、3つの言葉からなる本校の校訓について、本校生徒の皆さんには、ぜひ深く知ってほしいと思っています。

まず「誠実」からですが、「私利私欲をまじえず、真心をもって人や物事に対すること。また、そのさま。」という意味です。自分にとって損か得かを考えて、人や物事への対応を変えるのではなく、真心をもって接するということであり、「あの人は誠実な人柄だなあ」というふうに使われます。

2つ目は「じりつ」です。「じりつ」には「自立」と「自律」があります。「自立」とは、他人の力に頼らないで、自分の力で行動することです。また、「自律」とは、自分の行動に自分自身で決まりをつけて、ふさわしい行動をすること。つまり、自分自身をコントロールして、時と場に応じた適切な行動をとることです。

さて、本校の校訓に使われているのはどっちでしょうか。

3つ目は「きょうどう」です。これも「じりつ」と同じように、複数の漢字があります。「共同」「協同」「協働」です。

「共同」は複数の人や団体が、同じ目的のためにいっしょに物事を行ったり、同じ条件（や資格）でかかわったりすることです。また、「協同」もほぼ同じ意味ですが、力を合わせてとか、協力してという意味がさらに上乘せされます。「協働」については、同じ目的のために力を合わせて働くことであり、「働く」という、より具体化された言葉になっています。

さて、本校の校訓に使われているのはどれでしょうか。武道場前に校訓の石碑がありますから、帰りに確認しておいてください。

そして、武道場前の校訓の石碑の隣に、「教育目標の碑」という石碑があります。こ

これは、創立 30 周年を記念して、1987（昭和 62）年に立てられたものですが、石碑には「受けとめて 自ら立ちつつ ともに生き」という言葉が刻まれています。

これは、校訓をもとに考えられた、皆さんにこういう人になってほしいという目指す人間像を表しています。

「変化の激しい社会の状況や、自分が置かれている立場や状況を誠実に受けとめ、困難があっても、自らを律して立ち上がる、そして、まわりの人と協同し、ともに生きながら、これからの社会の創り手になってほしい。」そんな願いが石碑の言葉には込められています。

そして、皆さんが中部中学校の生徒である以上、これまでふるさとを築きあげてきた先輩の方々が校訓や石碑に込めた思いを受け継ぐ必要があると私は考えています。

さて、話は変わりますが、ここで「人生の時計の話」をします。かなり古い話ですが「今の自分の年齢を 3 で割った数字は、その人が歩いている人生の時刻を表している」というものです。

例えば私なら、今 55 歳なので、 $55 \div 3 = 18.333 \dots$ となり、時刻にすると 18 時 20 分となります。私の人生の時計は、1 日の主な仕事などを終え、これからだんだんと夜が深まっていく時間帯にいるというわけです。

では、中学生の皆さんはどうでしょうか。13 歳から 15 歳の 3 年間をこの例えに照らすと、午前 4 時すぎから午前 5 時までの約 1 時間に相当します。まだまだ皆さんには、1 日のうちの 8 割以上の時間があることとなります。これからそのたっぴりとある時間をどう使っていくのかを想像すると、やりたいことがいろいろ出てくるのではないのでしょうか。

また、この朝 4 時から 5 時までの時間帯は、1 日のうちで最も気温が低くなる厳しい時間帯ではありますが、新しい 1 日の始まりを待つ夜明け前の時間帯であります。つまり皆さんは、今は厳しくても、これからの活発な人生の始まりに向けて、今まさに明るい日の光が差ししてくるところに立っているのです。

間もなく訪れる、夜明けへの期待を持って、3 年生にはしっかりと次の一歩を踏み出してもらいたいし、1・2 年生には、しっかり力を蓄えてほしいと考えています。その道しるべとして、皆さんには中部中学校の校訓や石碑のことを心に留めて置いてほしいと思います。